

令和7年度第1回福岡市職員公務員倫理審査会 議事録要旨

1 開催日時

令和7年8月25日（月） 14時00分から15時00分まで

2 場所

福岡市役所 会議室

3 出席委員（5人）

櫛田委員

本間委員

眞鍋委員

山本委員

渡部委員

4 事務局

総務企画局人事部人事課

5 議事内容

〔議題〕

（1）会長の選出及び職務代理者の指名

（2）贈与等報告書の審査について

（3）所得等報告書の審査について

（4）条例の運用状況の公表について

（5）利害関係者との飲食の指定及び届出について

〔報告〕

（1）令和6年度 職員の懲戒処分について

令和 7 年度第 1 回福岡市職員公務員倫理審査会

(令和 7 年 8 月 25 日開催)

議事録

議題

(1) 会長の選出及び職務代理者の指名

(2) 贈与等報告書の審査について（事務局から説明）

○委員

福岡市職員倫理行動規準第 7 条第 1 項第 6 号ただし書の「第 2 条第 1 項第 4 号に掲げる職員」とは。

○事務局

一般職の職員である。

○委員

事前又は事後に倫理監督者の指定を受けたと説明があったが、事後に指定したものは、やむを得ない理由があったことを確認しているのか。

○事務局

事前に指定を受けることが大原則であるが、今回指定漏れが発覚したものについては、やむを得ず事後的に審査を行っている。

○委員

贈与等報告書を提出するタイミングはいつか。

○事務局

半年ごとに提出を求めている。

○委員

贈与等を受けた日から 1 週間程度で提出が上がっているものもあれば、相当程度の期間が空いて提出が上がっているものもあるが、提出の基準はあるのか。

○事務局

基本的には、人事課が指定する時期に提出を求めているが、贈与等を受けて速やかに提出される場合もある。

○委員

例年恒例になっている会議等は何か。

○事務局

賀詞交歓会は基本的に毎年開催されているものである。

○委員

賀詞交歓会等の恒例行事について、金額が変更になったということはあるか。

○事務局

昨今の物価高騰で金額としては上昇傾向にあると思うが、全てについて比較している訳ではない。

○委員

実際はもう少し金額が高い場合があるかもしれないという指摘か。

○委員

会費は変わらないかもしれないが、実際のコストは上がる方が自然な感じがする。

○事務局

贈与等を受けた金額のほかに職員が自己負担をしている場合もあり、贈与等報告書に記載されている金額が実際の一人当たりの金額という訳ではない。

○委員

贈与等により利益を受けた価格の根拠について、記載がないものは前年踏襲する等して推計しているケースもあり得るということか。

○事務局

そうである。

○委員

熊本県で開催されている会議は、出張について公費が出ているのか。

○事務局

会議については公費で旅費が出ており、歓談会については飲酒を伴うことから公費負担はそぐわないため出ていない。

○委員

今回は褒章関係等もあり件数が増加傾向にある等の指摘はあるが、適切に報告されており、問題ないように思う。

これらの資料については、市民からの情報公開請求があった際には公開されるものと聞いているが、適正に処理されているものと見受けられる。

他に意見がなければ、本件については特に指摘すべき事項はないという結論でよい。

○委員一同

異議なし。

○事務局

今後、事後的に申請があることが無いよう、全庁的に周知を行う。

○委員

今後気を付けてほしい。

(3) 所得等報告書の審査について(事務局から説明)

○委員

意見がなければ、本件については特に指摘すべき事項はないという結論でよい。

○委員

異議なし。

(4) 条例の運用状況の公表について(事務局から説明)

○委員

意見がなければ、本件については特に指摘すべき事項はないという結論でよい。

○委員

異議なし。

(5) 利害関係者との飲食の指定及び届出の審査について（事務局から説明）

○委員

贈与等報告書の概要についての説明の中で、今回件数が増加している理由の説明があったが、それぞれ整理されているように感じた。今回は祝賀会が多かったという印象を持った。意見がなければ、本件については特に指摘すべき事項はないという結論でよいのか。

○委員一同

異議なし。

○委員

一度指定を受けた会議等は、翌年度以降、指定は不要ということか。

○事務局

同様の会議等でも参加者や内容に大幅な変更があれば、都度指定を要する。

報告

(1) 職員の懲戒処分について（事務局から説明）

○委員

人材の確保のために、民間企業では奨学金の返還支援を行っているが、福岡市でも行っているか。

○事務局

教育委員会において、特別支援学校の教諭が不足していることから同様の制度を導入した。市長事務部局では行っていないが、周知や採用の方法、待遇の改善等を進めているところである。

○委員

今後も関係法令に基づき適切な対応をお願いしたい。懲戒処分が発生していることを重く受け止め、様々な研修等を行っているという説明もあったため、来年は減少することを期待している。